

# 学外研修報告

## 第 41 回分析機器 NMR ユーザーズミーティング 参加報告

共通機器部門 藤高 仁

### 1. はじめに（目的等）

自然科学系分野における核磁気共鳴装置（以後 NMR と略す）の操作・保守管理の基礎知識と共に最新の分析技術の習得及び意見交換を行い、教育・研究支援のためのスキルを向上させることを目的として参加した。

### 2. 期間・場所

期間：平成 30 年 11 月 14 日

場所：千里ライフサイエンスセンター（豊中市）

### 3. 参加者等

大学、研究所、民間会社の NMR 分析に携わる技術者及び研究者 約 200 名

### 4. 研修内容

聴講した講習・講演の内容は以下の通りである。

プローブ新技術紹介、INADEQUATE 測定に関する技術、定量 NMR 技術の講演、最新データ処理アプリケーションの紹介、最新固体測定アタッチメントの紹介、分解能調整基礎、医薬品製剤開発における NMR の利用。

### 5. まとめと感想

基礎講座では INADEQUATE 測定の活用について学び分解能調整については FGSHIM にかんする調整方法について講義をいただいた。

定量 NMR のご講演では他の装置では定量が行いにくい試料においても NMR であれば試料調整等

に手間をかけずに測定できることから最近企業でよく活用されている。特に製薬会社では NMR を用いた評価が JIS 規格で定められていることから、今後も発展する分野だと認識した。このたびの研修を受けた事により今後の業務遂行に際して大変役立つスキルを身に付ける事が出来たと考える。得られた情報を実践で活用するために日々の自己研鑽に励む必要があると感じた。